



# NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

## MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

### 皆様はご存知ですか？

#### 直接事業【医療支援事業について】



NPO法人西東京臨床糖尿病研究会の直接事業である医療支援事業は、「管理栄養士紹介事業」「糖尿病食を作って食べて学ぶ会（調理実習）」「登録管理栄養士研修連絡会」の3事業に分かれています。今回は登録管理栄養士がどのような活動をしているかをお伝えしたいと思います。

当会では登録管理栄養士の質を担保するために、登録および更新に際していくつかの規定が設けられています。日本糖尿病療養指導士又は西東京糖尿病療養指導士のいずれかの資格を取得し、臨床経験を有していること。また、更新規定として、年に1回の活動報告書と研修実績書を必ず提出すること。学会、勉強会、研修会に年5回以上出席のこと。登録後、栄養指導実績が3年以上ない場合更新は認められません。

「管理栄養士紹介事業」は、平成元年に糖尿病専門医と一般開業医との連携の一環として地域で活動する栄養士を開業医へ紹介する形で開始し、平成12年からNPO法人の直接事業に組み込まれた事業です。システムの流れは以下のようになっています。当会会員の開業医の先生が登録管理栄養士の紹介を希望する場合事務局に連絡します。事務局は担当理事の先生に紹介依頼の件を報告し、登録管理栄養士に勤務条件を告知します。条件の合う管理栄養士は直接開業医の先生に連絡し、雇用契約を結びます。契約に事務局が関与することはありません。現在の登録管理栄養士数は47名で、一昨年の栄養指導件数は8427件にまで増えました。管理栄養士を一般開業医に紹介するシステムは栄養ケアステーションなどでも実施していますが、全国的にも年間にこれだけの栄養指導を実施しているところはほとんどないようです。最近ではさらに登録管理栄養士の活躍の場を広げるために企業と連携する話を進めています。現在サンスターとの提携が決定しています。また、調剤薬局との連携など、多方面での活躍の場を色々と模索しています。

「糖尿病食を作って食べて学ぶ会」は、平成16年から開始し、調理実習を通して糖尿病食を体験学習することを目的としています。対象はNPO法人会員施設（開業医）の患者様及びその家族です。当初は年3回実施していましたが、参加者からの要望があり年8回に増やし、今年の2月で計46回開催しました。登録管理栄養士の主要スタッフと事務局、参加栄養士が連携をとり、参加者の皆さんに満足して頂ける実習が出来るように取り組んでいます。

「登録管理栄養士研修連絡会」は、年2回登録管理栄養士対象の研修連絡会として開催しています。現在の連絡会の内容は登録管理栄養士の活動報告、専門の先生を講師に招いての講義、管理栄養士間の情報交換等を実施しています。普段は皆さん違う仕事場でなかなか顔を合わせる事がないので、研修連絡会を通じて交流を深めています。

この事業は今年で24年目に入りました。これまでの業績が認められて昨年12月に第5回（平成24年度）糖尿病療養指導鈴木万平賞の受賞が決まりました。

糖尿病の患者様は確実に増えています。登録管理栄養士の活動により一次予防から三次予防まで幅広く行えるように今後も様々な企画を検討していきたいと考えております。

〔 追記 〕

平成24年1月23日、医療法人社団糖和会 近藤甲斐夫先生がお亡くなりになりました。

私は平成9年2月に近藤医院に入職しました。早いもので先生のところでお世話になって15年目になります。先生はいつも穏やかで優しくお忙しい時でも私に声をかけて下さいました。ほんの短いお時間でもいつでも先生の言葉はとても心に響くもので先生とお話すると心が温まりました。

今後も先生に教えて頂いたことを心に刻み、患者様のお役に立てるような栄養相談を行っていかうと思います。謹んで近藤甲斐夫先生のご冥福をお祈りいたします。

## 近藤 甲斐夫先生が永眠されました

本会の創設者のおひとりであり当研究会顧問である近藤甲斐夫先生が、平成24年1月23日、享年77歳にて永眠されました。近藤甲斐夫先生には、当研究会の発足当時より多大なるご尽力、ご貢献を賜りましたこと、ここにあらためて深謝し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

当研究会理事長 貴田岡 正史

※来月4月号にて、近藤甲斐夫先生を偲び、長年のご功績を紹介する特別号を企画しております。

## 研究会等の実施報告



### 平成23年度 北多摩北部医療圏糖尿病ネットワーク 医療従事者向け研修会 (第10回 北多摩北部スキルアップセミナー)

平成24年1月22日(日)小平市健康センターにて開講されました。

#### 研修の実施報告

当研究会理事 東京都立多摩総合医療センター 西田 賢司

1月22日、小平市健康センターにて、北多摩北部医療圏医療機能連携協議会、東京都多摩小平保健所と当研究会共催での医療従事者向けセミナーが開催されました。

北多摩北部地区では初めての試みでしたが、小平市医師会の八木知佳先生と当研究会理事長の貴田岡先生のご尽力もあり、43名の方々に参加いただきました。今回は特に医師向けと限定しなかったこともあり、医師、歯科医師、看護師・保健師、管理栄養士、薬剤師、PTなど、幅広い職種の方々が参加され、当初の見込みより多くなったため会場が手狭になったほどでした。

今回のセミナーは、午後のみとし、またテーマも「診断」「合併症」「治療(主に内服薬)」の3つに絞り、講師は北多摩北部地区から緑風荘病院内分泌代謝科の北村竜一先生に合併症を、当研究会から調先生に診断を、片山先生に治療の講演をお願いしました。

アンケートでは、内容については89.5%の方から「大変良い」「良い」、テーマについては100%の方に「ニーズにあった」と好評で、来年もまた参加したいという方も87%にのぼり、まずは成功裏に終わることができたかと思えます。全体の所要時間などについても82%の方に良かったとの評価をいただきましたが、日時などについては平日や土曜日の夜の方がよいとの声もあり、来年度以降の開催にあたり今後検討をしていきたいと思っております。また、当研究会との共催についても3分の2の方が賛成とのことでしたが、3分の1の方がわからないとのお答えで、今後当研究会との共催のメリットを出せるような企画を立てていく必要性を感じております。

会員の皆様からも、何かアイデア・ご希望等お寄せいただければ 今後の企画に生かしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお申し込み申し上げます。

#### 研修のご感想

当研究会会員 八木メディカルクリニック 八木 知佳

今年度の東京都糖尿病医療連携推進事業の一環として医療従事者向け研修会が、NPO法人西東京臨床糖尿病研究会の共催で開催されました。当日は朝方まで冷たい雨の降る大変寒い日でしたが43名の方が集まりほぼ満席の中、会が始まりました。講演1は「高血糖、低血糖、糖尿病の診断、プロの説明見せます」。データの見方、解説、プロは一味違うなと納得。4月からのHbA1cの国際標準化については仮想症例を提示してのわかりやすいご説明がありました。講演2は合併症について。あらゆる知識の再確認をして満足感漂う中、講演2は終了。ここで15分の休憩が入りちょっと一息。この頃には最初寒かった部屋も熱気で暑くなり、窓をあけて冷たい外気を入れたほどでした。最後は「明日から大丈夫だ 最初の薬・次の薬」。なんとも頼もしいネーミングです。講師の先生の「さあ、あと1時間!皆さん、がんばりましょ!」との威勢のよい掛け声とともに怒涛の講義が始まりました。多くの内容をすっきりまとめて説明していただき、文字通り「明日から大丈夫だ」という気になって全講演は終了いたしました。ここ数年、糖尿病診療は大変複雑かつ高度な内容になってきています。こういった会を通じての専門医の先生との知識の共有は開業医にとっては自信、安心につながります。講演会とは一味違う実践的なセミナーは大変ありがたい企画です。次の機会もまた参加したいと思っております。ありがとうございました。

## 研究会他のお知らせ

 直接事業
  間接事業
  その他

 第2回 薬剤師糖尿病指導研究会 **(※お申込みが必要です。)**

※詳細は同封の資料をご覧ください。

開催日：平成24年3月10日(土) 15:00~17:30  
 場 所：国立市商業協同組合 さくらホール (JR「国立駅」南口より徒歩3分)  
 参加費：500円(軽食をご用意しております。)  
 申込み：同封の申込み用紙にて、FAXでお申込みください。  
 FAX：042-362-1602 (宛先：ノボ ノルディスク ファーマ㈱ 飯塚)  
 申込締切：3月3日(土)

- ★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位
- ★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中
- ★研修認定薬剤師更新単位：1単位申請中


 第31回 食事療法学会・ランチョンセミナー **(※お申込みは不要です。)**

開催日：平成24年3月11日(日) 12:00~12:45  
 場 所：帝京平成大学 (JR「池袋駅」東口より徒歩12分)  
 参加費：無料(お弁当をご用意しております。)  
 申込み：当日受付(当日、会場においてチケットを配布します。)

 第12回 TAMA生活習慣病フォーラム **(※お申込みが必要です。)**

※詳細は同封の資料をご覧ください。

開催日：平成24年3月17日(土) 17:00~19:30  
 場 所：調布市文化会館たづくり 12階 大会議場(京王線「調布駅」南口より徒歩3分)  
 参加費：500円  
 申込み：同封のお申込み用紙にて、FAXでお申込みください。  
 FAX：042-362-1602 (宛先：ノボ ノルディスク ファーマ㈱ 小澤)  
 申込締切：3月12日(月)

- ★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位
- ★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

 第29回 東糖協多摩ブロック糖尿病教室 第18回 西東京糖尿病患者会連合特別講演会 **(※お申込みは不要です。)**

※詳細は同封の資料をご覧ください。

開催日：平成24年3月17日(土) 13:15~16:30  
 場 所：武蔵野シングホール 北棟2階 イベントホール (JR「武蔵境駅」北口より徒歩2分)  
 参加費：無料(どなたでも参加できます。)

- ★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

 第29回 糖尿病治療多摩懇話会 **(※お申込みは不要です。)**

※詳細は当会ホームページをご覧ください。

開催日：平成24年3月21日(水) 19:15~21:00  
 場 所：立川パレスホテル 3F「こぶしの間」(立川市曙町2-40-1)  
 テーマ：『糖尿病と神経障害』  
 参加費：1,000円(軽食をご用意しております。)

 第11回 西東京糖尿病心理と医療研究会 **(※お申込みが必要です。)**

※詳細は同封の資料をご覧ください。

開催日：平成24年3月24日(土) 14:45~18:35  
 場 所：立川市女性総合センターアイム1階 アイムホール (JR「立川駅」北口より徒歩7分)  
 参加費：1,500円  
 申込み：同封のお申込み用紙にて、FAXでお申込みください。  
 FAX：042-362-1602 (宛先：ノボ ノルディスク ファーマ㈱ 鈴木・中村)  
 申込締切：3月19日(月)

- ★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位
- ★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位申請中

 糖尿病治療ミーティング -高齢者糖尿病治療戦略を考える- **(※お申込みは不要です。)**

開催日：平成24年4月10日(火) 19:30~21:10 ※詳細は同封の資料をご覧ください。  
 場 所：スカイタワー西東京 地下1階「会議室」 参加費：無料(軽食をご用意しております。)

- ★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

# 研究会他のお知らせ

◆ 直接事業    ◆ 間接事業    □ その他

## ◆ NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 特別講演会 ～糖尿病と認知症～ **(※お申込みが必要です。)**

開催日：平成24年3月31日(土) 16:00～19:20 (開場15:30)  
 場所：明治安田生命ホール (JR「新宿駅」西口より徒歩2分)      ※詳細は同封の資料をご覧ください。  
 内容：『東京都における認知症施策について-糖尿病等の認知症身体合併症への対応も含めて-』  
 東京都医師会 理事 (地域福祉・介護保険・精神科医療担当) 平川 博之 先生  
 『糖尿病を有する認知症高齢者の治療とケア』  
 医療法人大誠会 理事長 群馬県認知症疾患医療センター センター長 田中 志子 先生  
 参加費：無料 (軽食をご用意しております)      定員：342名  
 申込み：同封のお申込み用紙にて、FAXでお申込みください。  
 FAX：042-322-7478 (宛先：当研究会事務局)  
 申込締切：3月23日(金)

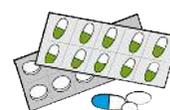
- ★西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位
- ★日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位申請中
- ★日本医師会生涯教育講座：申請中      ★日糖協療養指導医取得のための講習会：申請中

## ◇◇ 教えて！糖尿病Q&A ◇◇



質問者：匿名[看護師]

DPP-4阻害薬がたくさんあって、違いがよくわかりません。



回答者：東京都立多摩総合医療センター 佐藤 文紀【医師】

現在、日本で使用できるDPP-4阻害薬は4種類あります。様々な違いがありますが、主なものを表に示します。ビルダグリプチンやアログリプチンは重度の腎機能障害患者にも投与可能ですが、減量が必要です。一方、リナグリプチンは腎機能障害患者に対して減量の必要はありません。併用可能薬(保険適用上)にも注意が必要です。シタグリプチンはインスリンおよび多くの経口糖尿病薬と併用可能ですが、リナグリプチンは単剤投与のみとなっています。ビルダグリプチンは表に示したDPP-4阻害薬の中で唯一、1日2回投与が基本のため、服薬アドヒアランスが悪い人には向かないかもしれません。臨床効果に関しては、シタグリプチンよりもビルダグリプチンやアログリプチンの方が、血糖降下作用が強いように思います(私の個人的な印象です)。いずれの薬剤も、それぞれの特徴をふまえ、患者さんに合わせた処方が肝要です。

	シタグリプチン (ジャヌビア®、 グラクティブ®)	ビルダグリプチン (エクア®)	アログリプチン (ネシーナ®)	リナグリプチン (トラゼンタ®)
剤型	100mg錠 50mg錠 25mg錠	50mg錠	25mg錠 12.5mg錠 6.25mg錠	5mg錠
薬価	50mg 179.3円 100mg 269.6円	50mg 104.7円 100mg 209.4円	25mg 209.4円	5mg 209.4円
服用回数	1日1回	1日2回	1日1回	1日1回
単剤でのHbA1c低下効果	50mgで-0.92% (対プラセボ)	50mgで-1.2% (対プラセボ)	25mgで-0.82% (対プラセボ)	5mgで-0.70% (対プラセボ)
単剤での空腹時血糖低下効果	50mgで-18mg/dl (対プラセボ)	100mgで-27mg/dl (対プラセボ)	25mgで-23mg/dl (対プラセボ)	5mgで-19.7mg/dl (対プラセボ)
単剤での2時間血糖低下効果	50mgで-52mg/dl (対プラセボ)	100mgで-62mg/dl (対プラセボ)	25mgで-41mg/dl (対プラセボ)	5mgで-58.4mg/dl (対プラセボ)
腎機能障害時の用量調整	GFR 30-50: 25mg/day (max 50mg/day)	GFR < 50: 50mg/day	GFR 30-50: 12.5mg/day GFR < 30: 6.25mg/day	必要なし
併用可能薬	SU薬、α-GI、 チアゾリジン、 ピグアナイド、 インスリン	SU薬	SU薬、α-GI、 チアゾリジン、 ピグアナイド	なし (2012年2月現在)

伊藤真一 編著：患者さんの質問に答える外来糖尿病診療 改訂3版、南山堂、P.130より抜粋(一部変更)



《広報委員会より》Q & Aに質問をお寄せ下さい。それぞれ専門分野の委員に答えてもらいます。

宛先 (Q & A受付専用) : [qanda@lagoon.ocn.ne.jp](mailto:qanda@lagoon.ocn.ne.jp) お名前(匿名可)、職種をお書き添えてください。

### 《発行元》

NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局  
 〒185-0012  
 国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802  
 TEL : 042(322)7468 FAX : 042(322)7478  
<http://www.nishitokyo-dm.net>  
 Email : [w\\_tokyo\\_dm\\_net@crest.ocn.ne.jp](mailto:w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp)

### 《編集後記》



今年は花粉の飛散量が少ない、と報道されていますが、とうとう私にも鼻炎症状がはじめてきました。糖尿病患者さんにとっても花粉症はストレスになるので、(炎症性サイトカインが増え、インスリン抵抗性が増す)血糖コントロールが乱れるのではないのでしょうか。私が勤務する病院のレストランでは、「花粉症に効く食べ物」がメニューとして出ています。医食同源ではありませんが「食事って大事なんだな」、と改めて思う今日この頃でした。  
 (広報委員 松本 麻里)

